

緑市民病院通信

(H25. 5.1)

〒458-0037 名古屋市緑区潮見が丘一丁目 77 番地
 電話代表 052-892-1331
 地域医療連携室 052-892-1334
 F A X 052-892-1315
<http://www.med-junseikai.or.jp/midori/>

名古屋市立緑市民病院登録医各位

医療法人純正会 名古屋市立緑市民病院
 院長 神谷 保廣

高齢化社会 - 地域を病棟に -



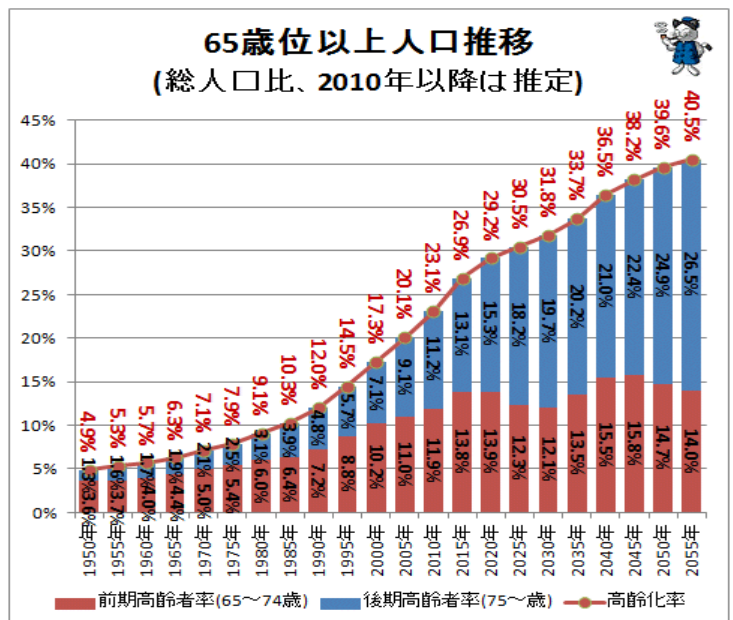
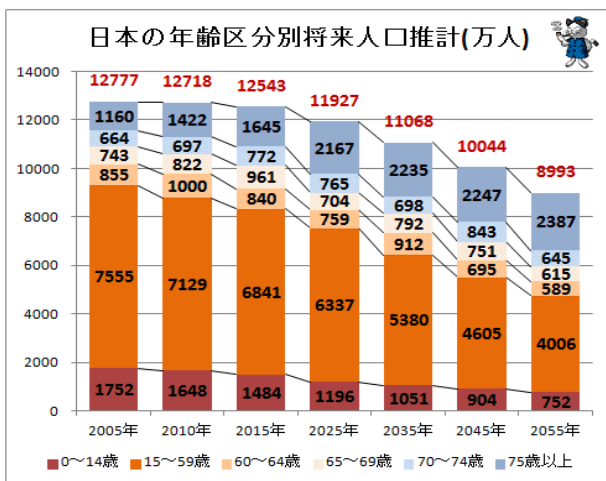
GW はいかがお過ごしでしょうか。病院に勤めていると当然のことですが、受け持ち患者さんの診療がありますのでなかなか自由になることはありません。療養中の患者さんには連休は関係がなく、早く良くなって帰りたいと思う気持ちで休みでも平日です。時には連日(?) 出勤し診察をすることもあり、家族の「お休みがないの?」という顔を見るのがつらいこともあります。

でも巷ではまだ国民の休日が足りないといつて増やす動きがあります。病院勤めの現役にはもうたくさんだと思うのは日本人の勤勉さからでしょうか。休日に「病」にならないという法則はありませんので休日の救急診療は大切です。まだ十分な「医師力」ではありませんが、当院では平日夜間、土曜終日、日祝日昼間の救急診療を行っておりますのでご利用ください。

国立人口問題研究所は、50年後に総人口8700万人、65歳以上の人口割合は40%になると推定しています。人口は減るが高齢者は増えるということです。しかも75歳以上の人口だけが増え続けます。厚労省は2025年頃までにこうした社会における医療の姿を次年度あたりから打ち出してきそうです。すなわち、1. 病院や病床の機能の分化と連携、2. 在宅医療の充実、重点化・効率化などです。病院は機能別に再編されます。そして地域で高齢者を在宅で診る。それぞれの自宅を病床とみなして、訪問介護、看護を定期的に巡回させ、地域でケアしていくしくみ作りに向けて施策がとられるでしょう。



緑市民病院のこの地域でのあり方は変わることなく
 「地域に密着した急性期医療」を責任をもって実行していくことであります。



<5月の資料>

- 医師専門分野一覧
- 外来診療担当医表
- 医師当直当番表